

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES沼津するが校		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 10日		～ R7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年 2月 12日		～ R7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「楽しいが広がる場所」のコンセプトを目指して、集団レクリエーション活動を行っている。	曜日を設定し、他者とのコミュニケーションや関わり方、ルールを守る等の社会性を身につけるような内容を取り入れている。	支援員は必ず振り返りシートを記入しているので、今後もマンネリ化することなくPDCAサイクルを行ってきたい。 また、土曜日のイベント活動も更に拡充していきたい。
2	支援員は間での情報共有の徹底に努めている。	日々のミーティングを必ず実施し、児童の体調及び保護者からの連絡事項等は情報共有を行っている。ミーティング日誌にて記録を残し、欠勤者は後日情報共有を行っている。	今後は、児童一人ひとりのニーズの情報共有を行い、経験の浅い職員も支援の質を高めていきたい。
3	保護者との連携を重要視し、情報共有を行なっている。	日々の送迎時での会話や報告、連絡帳にて情報共有を丁寧に行っている。最近では、HPやSNSにて事業所内の様子を積極的に発信を行っている。	今後は、学校や相談支援事業所等関係機関とも連携を深めるよう努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	構造上の問題ではあるが、スペースの狭さを感じる時がある。	利用児童数及び高学年児童が増加したため。	限られたスペースの中で安全に留意し、個別活動と集団活動の場所を確保していきたい。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童デイSES沼津するが校

公表日 R7年 3月 29日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者が多い時、机の配置を変える等の、工夫している。広いスペースをつくるよう声かけを行なっている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			利用児童増に伴い、送迎時に支援員が必要になってきている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		段差をなくし、スロープになった。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		児童と一緒に掃除の活動を取り入れている。LEDに変えたり、壁紙の塗り替えを行ったので、快適な空間となっている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>		半個室のスペースがあり、クールダウン時に使用している。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日ミーティングを行い記録を残している。職員間で意見を出し合う場を設定している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援員内で周知を行っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日のミーティングにて意見を言える場になっている。支援員間での報告や連絡は密に行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今後実施していきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		情報がある研修は全員に周知するようにしている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		作成したものを共有している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者からの相談や報告は支援員間で情報共有し、児発管が作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児発管作成後、ミーティング時に情報共有しているが、今後更に強化していきたい。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児発管作成後、ミーティング時に情報共有しているが、今後更に強化していきたい。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		行動観察をもとにアセスメントを使用する等により確認している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		一部のみの支援員は理解できている。	理解できていない支援員もいるために今後研修等する機会を設けていきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		立案は一部の支援員で行っているが、振り返り記録やミーティングで意見を取り入れるようにしている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		レクリエーションや自立活動を取り入れ、活動が固定化しないように努めている。また、児童からの提案は積極的に受け入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		曜日を設定し、レクリエーションで集団活動と個別活動の時間を確保し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎日ミーティングで丁寧に話し合い、送迎に入る。参加できなかった職員は、記録にて共有。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		送迎後、事業所内SNSにて情報共有を行っている。支援員間の情報共有は徹底されている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		行動観察にて記録。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりの変化や保護者からの連絡を丁寧にいき、必要に応じて児発熱官が見直し対応をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		小学生から高校生までの幅広い年代に対応できるように必ず複数入っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		選択肢を提示して自己決定できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		管理者、児童発達支援管理責任者が担当している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			今後は連携を行っていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		送迎担当者や管理者が確認している。学校との連携や保護者からの情報提供は密に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		相談支援事業所と連携を取れている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			今後、事業所と連携して情報共有を行ってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			地域の児童発達支援センター機能が十分に活動していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		地域の公園にて出会うことが多くなり、交流する機会がもてるようになっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			他事業所の代表者が参加しているが、今後は自事業所からも参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳や送迎担当者から丁寧に伝えている。時に、電話で相談も行われている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			参加している保護者と情報共有を実施したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時、管理者が説明している。保護者より質問がある際は丁寧に回答している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童に関しては様々な形で意思表示ができるように工夫している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		行なっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳や送迎時、電話等で行っている。丁寧な対応を行うよう努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		現在は行っていないが、保護者アンケートを踏まえ、検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		ミーティングを通して職員全体で把握している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HPやSNSにて掲載。ブログやインスタグラムで積極的に発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		画像については、十分に注意を払っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		児童に合わせて、伝わりやすいコミュニケーションで対応している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		機会があれば今後は他団体と交流したいと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		家族への周知が不十分な状況なので、早急に準備を行いたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に避難訓練を行なっている。児童たちも積み重ねができています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時に検査結果表を提出していただいたり、口頭で伝えていただき対応に当たっている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		契約時に検査結果表を提出していただいたり、口頭で伝えていただき対応に当たっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画の策定は行っているが、研修や訓練が不十分なため、行っていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時に行っているがまだ不十分なため、今後は家族周知をしっかりと行いたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットの記録し、他事業所にも情報共有を行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		実施している。常に虐待についての意識をもって支援にあたっている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		現在は対象児童はいないが、今後必要児童について行っていきたい。	